

平成28年11月1日

熊谷学園 2-3 期 南京玉すだれクラブ(39回公演)報告
28.10.31 特別養護老人どりーむ 美里町北十条

以前から地元で高い評価を得ている「特別養護老人どりーむ」での公演を行いました。この施設は株式会社組織で、社長さんの活動的、積極経営で国、県、各所から多くの表彰を受けています。場所は後ろに小高い山を控え、前に小山川が流れ静かな環境の良い場所にありましたが、美里町に居住のメンバー根岸さんに案内してもらわなければ、我々は何処をどう曲がったのか、どの位置にいるのか皆目分かりません。

1時30分に現地に着き準備控室に通され、すぐに着替えて公演の準備をしました。2時少し前に担当の湯藤さんに声を掛けてもらい、隣の舞台に移動しました。そこには幕が引かれ、幕の向こう側で湯藤さんが入所者の方々へ今日の公演の案内を話していました。そして拍手と共に幕が開き公演が始まります。

マイクを渡され短い挨拶の後、舛田さんからの「南京玉すだれ」の口上で演舞が始まりました。入所者の方々は皆元気そうな顔でしっかりした人が多く、後で話を聞くと大半の人が大正期から昭和一桁の方で、演技に合わせ体を動かし手拍子をしてくれました。その後ひとり一人自己紹介をし、得意技を演じ、恒例になっている「玉すだれ」を直接手に取ってもらい、大きく開いた輪の両端を握りポーズを付けて写真に収まるコーナーでは、皆さんニコニコ顔で嬉しそうな表情をし、「意外と重いね。」という感想が聞かれました。

健康体操の時間帯では、後方で公演の様を見学していた施設のオーナー小出操さんにも赤いエプロンを着たいいただき、舞台の上で職員の方々と一緒に参加してもらい大いに盛り上がりました。

最後に栗原さん担当の「きよしのズンドコ節」の時には、すっかり会場にいる人達の気持ちと一緒に楽しい時間になりました。終了時には「また来て下さい」という声を聞きながら手を振って退場しました。

公演が終わった後、応接室で小出社長さんから施設設立の経緯、運営の哲学などのお話を聞き、施設内の見学、入所している部屋など見せてもらい、施設内の居住環境が素晴らしい事を実感し、感心して帰ってきました。



